

# **[第2回]学校運営協議会**

と き／令和7年10月20日（月）19：00～20：15

ところ／南が丘小学校 ふれあいホール

## **1 報告事項**

（1） 令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果・分析及び今後の取組について

報告の内容は以下の通りです。

○国語・算数・理科の3教科で、本校は三重県・全国より高い結果が出た。

ただし、全国平均を下回った設問があり、個別課題として整理された。

〈国語〉

【課題】

- ・場面理解の問題と設問解釈のずれ
- ・記述問題への取り組み方

【取り組み】

- ・実際のインタビュー体験を増やし、事前メモや要点整理の練習を学年で計画的に実施。
- ・要約、要旨把握の指導を強化し、長文から重要部分を抽出する練習を重点的に行う。
- ・伝える相手を具体的に設定して、目的意識を持った文章作成

〈算数〉

【課題】

- ・日常場面に関連した数量や手順の説明する問題
- ・図形（台形の識別と回転・裏返しのイメージ）への理解

【取り組み】

- ・実物や身近な容器・ペットボトルを使った活動を取り入れ、数量の感覚と応用力を育てる。
- ・デジタル教材（教科書QRコード、タブレットでの図形の回転・裏返しの操作）とアナログ活動（紙に描く、モデルを回す）を併用して理解を深める。

〈理科〉

【課題】

- ・金属の性質（電気伝導と磁性）の混同
- ・植物の発芽条件（レタス）

【取り組み】

- ・6年生の理科（空気の成分に関する課題：空気、窒素、酸素、二酸化炭素）では、見た目では判断できないものを「どう調べるか」を文章で説明させる活動を実施。具体例として、石灰水で濁るかどうかの確認や、青色リトマス（と思われる）による検査などを用い、学習を通して児童同士の説明活動も行っている。

質疑応答の中で、テストを行った学年だけでなく、学校全体として分析・フィードバックを積極的に行っていくことが大切だということが確認されました。

## 2 協議事項

### (1) 学校自己評価の中間評価

内容は以下の通りです。

#### 〈知領域〉

##### 【取り組み】

- ・学習の見通しをもって、自分の考えや目当てを立てる活動。
- ・振り返りを充実させ、自らの学びを自覚する時間を確保。

##### 【分析・考察】

- ・協働する場面の設定は機能しており、C（できなかった）回答は少ない傾向。一方で「学びが広がった・深まった」と言える具体基準が教員・児童で共有されておらず、60%以下に留まる。  
→「シン振り返りのコツ」（低・中・高学年版）の活用を進める。「考えが広がった・深まった」と読み取れる児童の振り返り記述の収集・比較資料を作成し、教員・児童で共有して基準を具体化する。

#### 〈徳領域〉

##### 【取り組み】

- ・一人ひとりの良さを引き出し、児童同士をつなぐ働きかけ。
- ・先生や友達、自分の気持ちを伝えられる経験の意図的な設定。
- ・トラブル時に状況を聞き取り、どうすべきかを考えさせる指導。
- ・異学年交流・委員会イベントの実施、教職員の連携強化

##### 【分析・考察】

- ・思いやりに関する自己評価は低・中・高で肯定的な傾向。高学年はAを選ぶ授業が「100%に近い数値」。
- ・学年が上がるほどB選択が増える傾向があり、評価基準（誰に対しても優しい言葉・思いやりのある行動等）が厳密になるため、自信をもってAを選べない可能性。  
→二学期は運動会や児童会・委員会活動を通した学年縦断の交流機会を増やす。

## 〈体領域〉

### 【取り組み】

- ・めあてを自分で立てる、運動に慣れ親しむ（授業だけでなく休み時間の遊びなども活用していく）

→否定的回答の理由は「野菜が苦手」「食べたいが難しい」。段階的に「一口だけでも試す」などのステップを設け、味に慣れる支援を行う。

これらの報告に対して、

- ・「自分の考えを持つ」は A・B・C すべてに共通するため、重複を避けて文言から抜き、全体をスッキリさせる方針が確認された。また、前回に渡した資料では「自分の考えを持つ」を含む認識で記載していたが、文言が長く子どもが選択しやすいよう簡潔化した。
- ・授業の振り返り時間とアンケート分析の論点として、授業末の振り返り時間が確保しにくい課題があり、確実に時間を取る必要性が確認された。アンケート分析では、「時間をなくす（削減）」が目的なのか「時間を確保する」が目的なのかの違いが大きく、目的の明確化が求められた。

等の意見が出されました。

## （２）学校支援のあり方について

学校支援のあり方について報告を行いました。内容は以下の通りです。

- ・年間を通した安全パトロール、学習支援、昔遊び（低学年）、まち探検（中学年、生活科・社会科連動）、ミシン・手縫い支援（高学年）など、多様な支援が継続されている。11月以降も支援が予定されており、今後も連携をお願いしたい旨が伝えられた。安全面での見守りや学生ボランティアの支援など、幅広い支えに対して謝意が示された。

## 3 連絡事項

### （１）今後の予定

- ・第3回学校運営協議会：3月9日（月） 19：00～